

2023年度 学校評価まとめ わらべ幼稚園

I 経営の重点にかかわること 評価段階

(A:よくできている B:できている C:あまりできていない D:まったくできていない)

学校評価責任者 松下秀子

1 園教育・保育目標: やさしく・かしこく・たくましい子		園関係者評価委員会	
2 重点目標	<ul style="list-style-type: none"> *園の教育目標を理解し目指す幼児の姿をイメージして、保育の計画を立てる *子どもの発達や生活を見通して環境設定をしている *子ども一人ひとりをよく観察し子どもの思いやサインを受け止めて保育できている 	評価	A
<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の中で成長し仲間を大切に する子 ・丈夫な体 を持つ子 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児では子どもの思いや体調、家庭での生活の様子を受け止めて保育した ・子ども一人ひとを受け止め、関わり把握し丁寧に保育した ・ごっこ遊びの充実やイメージ遊びを深めたり製作活動ができる環境を意識して作った ・個々の様子と全体のバランスを考慮して保育している ・乳児は安全面や衛生面に配慮して計画を立てた ・保育士が心に余裕をもちスキンシップしていった ・自分も環境について学んでいきたい ・長期計画を意識していきたい ・園の教育目標を理解して保育している ・先回りせず、子どもと一緒に生活する中でかしこさ・やさしさが育っている ・丈夫な体を持つ子・自然とかかわることを意識して保育した ・仲間であくさんの経験ができるように見守った 	<ul style="list-style-type: none"> ・園目標を教職員で共有する努力は大切です ・子どもたちが意欲的に遊びや活動をしていると思います。自発的で表情も豊かだと思います ・子どもたちひとり一人の思いを受け止めて保育をしてきている ・子どもの思いを先生たちが受け止め、子どもが自ら考え、意見を発表したり行動できるようになった ・リュックの日を設けているので歩くことで健康につながっている ・保育士が心に余裕をもっていてくれるので子どもにも伝わっている。大切なことだと思う 	

II 各領域にかかわること		評価指標	園関係者評価委員会	
大項目	中項目	一人ひとりの発達や経験を把握し理解した上でわくわくしながら園生活が過ごせるよう援助する	評価	A
1 こども園 における 教育及び 保育	(1) 0歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの学年が年齢にあった保育をしている。 ・時代の流れにあった保育も必要であると思う ・子どもがやりたいという意欲や気持ちを達成させてやりたいと保育した ・一人ひとりの月令差など考慮して関わるようにした ・3歳児に分かり易く、園に来ると楽しい事があると思えるような保育をした ・生活・遊び・食事等発達に合わせ、できた喜びを味わえるように保育した ・1歳児は言葉の獲得など言葉がけを重視した ・保育士が楽しむ姿を見せてきた ・保育士同士の連携を作ってきた 	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の流れは背景にあると思うのでどうしていきいかを考えていくと良い ・年齢にあった保育ができている ・社会性を学んだり、年齢を超えて交流して楽しんでいる。お互いに良い影響を与えている ・先生たちが日々の活動を楽しんでいることが子どもたちに影響を与えている ・子どもがワクワクするような保育をしている 	
	(2) 1日の生活の連続性及びリズムの多様性への配慮	スキンシップを取り、子どもに寄り添い、安心して穏やかな気持ちで生活できるよう援助する	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児クラスは特に保育者が皆で子どもを暖かく迎えている ・保育者は子ども声に耳を傾け、寄り添って保育に当たっている ・0歳児にとっては安心と穏やかな雰囲気作り、大人の動きや環境を常に意識した ・気持ちが不安定な子にはじっくりかかわる時間を取るようにしている ・保育士は笑顔で接し抱っこしたりおんぶしたり気持ちを受け止め寄り添って保育した ・毎日の挨拶や会話、コミュニケーション、甘えたい気持ちを大切に ・保育士がゆったり、穏やかに声のトーンや速さを意識し落ち着いた雰囲気保育した ・わらべ歌遊びは歌いながら体を揺らしたり、触れ合うことができるので取り入れた ・朝、1日のスタートを穏やかな気持ちで進められるようにしている 	評価
			園関係者評価委員会	
			<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに寄り添って保育していると思う ・歌や手遊びも楽しんでいると思う ・子どもたちの中で落ち着かない子や不安そうな子どもには必ず先生が寄り添ってくれている ・毎朝 先生たちが声掛けをしてくれるので親も安心できる 	

	(3)環境を通して行う教育及び保育	<p>五感を通してみたいと思うような経験を広げていけるような環境を用意する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子をみながら環境設定をしてきている ・毎月、玄関の壁面に製作をし、子どもたちがワクワクする空間を作った。 ・感覚を刺激するようなマットやおもちゃを作り感覚遊びを楽しむようにした ・0歳児の環境設定を常に考えているが、子どもにかかわる時間がすべてでなかなか環境設定を考えることが難しい ・年齢や人数にあった環境構成をした ・見立て遊びの玩具を用意して活動に繋げた ・クッキング・色水・氷・どろんこなどに興味を持たせる環境を作っている ・興味がある曲を流したり、散歩で自然に触れたり運動・製作・野菜作りなど体験した ・畑での栽培・草花・虫などに触れる機会を多く持ち命の大切さなど気付かせた ・環境作りが不十分な面もあった 	園関係者評価委員会		
			<table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・環境を大事にしているので子どもたちが伸び伸び遊んでいた ・季節ごとの玄関の飾りが子どもたちに季節や日本の風習を教えてくれる ・自然環境をいっぱい取り入れてくれている ・どろんこ・水遊び・川遊び・土手遊び畑の活動・調理など五感をフルに使っている 	評価	A
評価	A				
2 安全管理・指導	(1)事故防止 防災	<p>災害・不審者・交通安全など様々な状況を想定し、園児に安全行動を身に付けさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の防災訓練を色々な想定で計画してきた ・怪我があった時は職員間で情報を共有し対策をするようにしている ・地震訓練で炊き出し体験を行った ・職員間で情報共有していきたい ・訓練は子どもの不安を軽くしながら繰り返し行うようにした ・乳児では保育者同士の連携が大切。日常の中で考えていきたい ・散歩に出る機会が多く歩く時の約束を伝えている。交通教室への参加も良かった ・ヒヤリハットを利用し職員間で安全面を共有している ・大きな地震対応は園外保育などの場合は難しいと感じる ・自分自身が危機管理をできるようにしたい ・園外保育では防犯ブザーや笛など身に付けている 	園関係者評価委員会		
			<table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な想定で常時保育者間の連携が必要です ・様々な状況を想定し子どもの安全を考えてくれている ・防災訓練を通じ家庭でも避難の話ができる ・園外保育は安全面が大変であると思うが約束ごと、先生方の配慮で子どもは楽しんでいる 	評価	A
評価	A				
3 保健管理・指導	(1) 健康教育の充実	<p>基本的な生活習慣が身につく健康に過ごそうとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健便り・食育だよりを通して情報発信している ・乳児では戸外遊びを多く取り入れよく遊び、よく食べ、ぐっすり眠る等、基本を大切に健康管理している ・感染症対策で保護者に情報発信している ・野菜を育てたり、クッキングで食への興味・意欲を高める事ができた ・基本的な生活習慣が身に付くようにまた視覚で分かるように工夫した ・生活リズムの安定を図った ・0歳～1歳でも石鹸を使っての手洗いができてきた ・乳児の着替え・お昼寝・トイレトレーニングなどは子どもに合わせて、タイミングを見ながら声掛けをしていった 	園関係者評価委員会		
			<table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・食育を通し健康に過ごせるように考えてくれている ・野菜作りでは収穫・調理に関心を持ち嫌いな野菜も食べるようになった ・個々に合わせて生活習慣を身につけさせてくれている 	評価	A
評価	A				
4 特別支援教育	(1) 支援体制づくりの推進	<p>個々の状況に合わせて支援計画を立て、全職員がかかわりを持ち援助しようとしている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気になる子に対して支援の仕方を職員全体で共有し子どもを見守る体制づくりをしてきた ・気になる子の良い所を見つけようと話し合ってきた ・気になる子の様子は週案会議・総括会議で発信し共通理解をしてきた ・児童発達支援通級と連絡を取り子どもの育ちを見守るようにした 	園関係者評価委員会		
			<table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちとの関わりを含めクラス全体で支え合っているように思う ・園全体の先生たちが子どもを知ってくれている ・支援の必要な子には先生たちが一生懸命対応している。 	評価	A
評価	A				

5 組織運営	(1) 組織体制の 充実	日常の保育や園行事について手紙、パネル、写真など利用して、保護者に説明や協力事項を伝え職員間で連携して教育保育を進めている	園関係者評価委員会	
		<ul style="list-style-type: none"> ・週1回リーダー会を設けリーダーが話し合いを持つようになった ・ホームページの更新など積極的にやるようにしたい ・ホワイトボード・ノート・懇談会で保護者と成長の共有をしたり様子を丁寧に伝えている ・ホワイトボードに写真を添付したりして活動内容を分かり易くした ・園便り・クラス便りの発行で子どもの様子を保護者に伝えている 	評価	A
6 研修	(1) 研修体制の 充実	「わらべ独自の保育」どんな遊び・環境・子どもの成長への手立て具体的な共通理解を進めているか	園関係者評価委員会	
		<ul style="list-style-type: none"> ・大学の講師を依頼し研修を行ったことで職員が同じ学びを共有できた。続けていきたい。 ・オンライン研修も多く取り入れた ・各クラスの話が聞けて良かった ・園内研修では全体での話し合いと少グループ制にしての話し合いで意見を交換した ・色々な研修に参加し保育に活かしていきたい 	評価	B
7 家庭との連携・協力	(1) 家庭教育への 支援機能の 充実	子どもの発達や活動の様子を降園時や保護者面接・懇談会で伝えたりお便り・ボードなどで積極的に知らせている	園関係者評価委員会	
		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の時子どもの姿を伝えたり、保護者の思いも受け止めている ・フリーの立場で保護者をサポートしていきたい ・乳児組は毎日 保護者と顔を合わせるので安心感を持ってきている ・懇談会などで園の様子を伝え、子どもの成長を感じてもらえた ・バス通園の保護者と話をする機会が少ない ・お便りや懇談会資料に写真など掲載し分かり易くした 	評価	A
9 近隣の園との 連携	(1) 近隣の園との 連携の推進	近隣の小中学校との連携を図り、交流、情報交換を進める	園関係者評価委員会	
		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の先生との交流をしていきたい ・公開保育をして小学校の先生に参観してもらった 	評価	B
			<ul style="list-style-type: none"> ・学校との情報交換を進めて欲しい ・中学生の学習訪問などでの交流が良い 	

10 地域との 連携	(1) 信頼される園 づくりの推進	地域住民や施設等とのかかわりを大切にしながら、園だけではできない体験をする機会を持つようにする	園関係者評価委員会	
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりを持ち、園を知ってもらいともに見守ってもらえる園づくりをしたい ・地域の商店や施設と交流をしたり、子どもたちを守ってもらえるようになりたい ・地域の千代様に芋ほりやみかん狩りの体験をさせていただき嬉しかった ・近隣で出会う人々に挨拶を交わしている ・行事などの際は回覧板等で騒音や人の出入りで迷惑をかけることを知らせると良いと思った ・デイサービス訪問もでき、お年寄りとの交流ができて良かった 	評価	A
			<ul style="list-style-type: none"> ・皆で子どもを育てる、子どもを大切に作る雰囲気を作っていくと良いです ・地域の方々が収穫体験やデイサービス体験をさせてくれるので嬉しい わらべの保育を知ってもらえる良い機会であると思う 	

園から 経営のまとめ(成果と課題)	園関係者評価委員会まとめ
1 園から経営のまとめ(成果と課題) <ul style="list-style-type: none"> *今年度はコロナ感染症が第5類となり通常の生活に戻った。しかしコロナ以外の感染症（インフルエンザA、B型・ヘルパンギーナ・RSウイルス・アデノウイルス等）の流行が多かった。園児、教職員に感染が広がった。 *保育において活動や行事など保護者や地域の方に参加してもらいながら、子どもが生き生きできる活動に取り組んだ 年長児は4年ぶりに園でのお泊り会を行ったり最後の園生活を、いろいろな体験をするようにした *園外保育も匠宿やデイスカバリーパークや公園や広場、土手など多くいくようにした *保護者との交流や懇談会・参観など実施するようになった。いろいろな工夫をしていくことを考えてやってきた *乳児の保育では保育教諭の数を増やし保護者が安心して預けられるよう配慮した *食育活動を重視し畑仕事、野菜の栽培、収穫、クッキングなど取り組んだ また地域の方からみかん狩りやイモ類の収穫に招いていただき園児にとって嬉しい体験ができた 	<ul style="list-style-type: none"> *先生たちが子どもに寄り添い話を聞いてくれたり意見を取り入れ保育を組み立ててくれたことが良い *子どもたちが楽しそうに毎日笑顔で過ごせたのが良かったです *懇談会や父親参観・わらべ夏祭りなどコロナ前のように実施してくれてよかった *わらべの保育については先生方を信頼しています ・他園に比べ先生の数が多く、わらべ幼稚園の特色の1つである週1回のリュックの日（園外保育）が安心して実行できていると思います 足腰を鍛える良い取り組みだと思います *どろんこや水遊び、砂場遊び・土手滑りなど子どもがたくさん経験できて良い *子どもたちが素直で明るいと思います
2 園関係者評価の意見を受けて(改善策) <ul style="list-style-type: none"> *通常保育ができるようになり子どもたちの成長に合わせた保育や環境設定を考えていきたい *マスク無の生活になり、感染症を予防しながら保育を進める *気になる子の対応を園全体で共有していく *0歳～卒園までの6年間の一貫した保育の長期計画を立てていく *食育計画を立てていく（栽培・給食献立等含め） 	